

令和3年1月20日

令和2年度 第3回 学校運営協議会

<運営協議会委員>

名 前	職 名
松 宮 新 吾	追手門学院大学教授
河原林 昌 樹	弁護士
上 甲 尚	門真市立第二中学校長
三 村 泰 久	門真市立脇田小学校長
峯 松 大 輔	門真市立上野口小学校長
三 戸 治 歩	門真なみはや高校PTA会長

<事務局>

宮 田 幸四郎	教頭	桂 田 光	生徒指導部長
久 森 雅 代	事務長	松 村 尚 之	生徒会指導主担
宮 蘭 賢 二	首席	岡 田 真 美	保健部長
山 村 裕 子	首席	藤 田 和比郎	総務部長
山 田 浩 二	教務部長	金 秀 好	3学年主任
福 田 拓 矢	進路部長	山 口 周	2学年主任
		小 田 悟	1学年主任

<開催日時> 令和3年1月20日 15時15分～16時30分

<内容>

○学校長挨拶

○議事

<審議事項>

- 1 令和2年度学校経営計画及び評価について
 - 2 令和3年度学校経営計画について
 - 3 学校教育自己診断について
 - 4 第2回授業アンケートについて
 - 5 教育活動に係る保護者からの意見について
- その他

<報告事項>

- 1 今年度の教育活動のふりかえりについて
- 2 その他

<審議事項>

①令和2年度学校経営計画及び学校評価について

確かな学力の育成について（報告）

- ・カリキュラム委員会の活動について

職員研修、職員会議開始前の授業実践事例の紹介など

- ・授業アンケート「知識や技能が身についた」の第一評価が、昨年 38%→今年 47%（以下項目で、昨年 %→今年 %の昨年、今年を省略）
- ・学校教育自己診断「教え方に工夫している先生が多い」の第一評価が 23%→33%
「授業で発表する機会がある」の第一評価は 42%→43%

Q：授業実践例の具体例は？

A：google classroom の活用方法の紹介や新学習指導要領を意識した数学の授業の例、
チョークの使い方の技など

<意見>

- ・授業アンケートの数値の伸びには高い評価を得た。

生徒のやる気スイッチをオンにする（報告）

- ・9月時点の部活動加入率 66%→75.6%
- ・学校教育自己診断「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価 59%→71%
「ガイダンスはわかりやすい」の否定的評価 18%→9%
- ・就職内定率 100%

Q：部活動加入率が目標をクリアしているが、コロナ禍での取り組みは？

A：6月からの学校再開で、学校外の活動に気持ちが向いてしまっているのではないかと
という心配もあった。さらに部活動紹介など例年であれば実施していた取り組みが
できず、1年生の加入率の低迷が危惧されたが、各部が動画を作成するなどそれに
代わるものを準備した。現在は、再び部活動への制限が大きくなっている状況だが、
マスクの着用徹底など折り合いをつけつつ活動している。

安全で安心な魅力ある学校づくり（報告）

- ・学校教育自己診断「制服・遅刻・頭髪指導は適切である」第一評価 37%→42%
「先生の指導は納得できる」第一評価 34%→37% <生徒は指導に納得している>
- ・コロナ禍で保護者メール配信システムのを大いに活用した。急な休校及び学校再開の
連絡が従来に比べ格段に円滑に進んだ。メール配信だけでなく google classroom も
あわせて活用している。

Q：スマホを持っていない生徒に対してはどうしているのか？

A：個人持ちの通信手段がない場合は家庭で共有のものがある、または保護者がメール
を受け取れることを確認したうえで実施。学習場面でのスマホがないことへは学校
所有の iPad を貸し出すなどして対応している。

②令和3年度学校経営計画について

- ・中期的目標の設定について承認を得た。

③学校教育自己診断について

- ・令和2年度学校経営計画及び学校評価の中で説明、その他の項目については資料にて

提示し、承認を得た。

④第2回授業アンケートについて（報告）

- ・全体としては、おおむね高い評価であると考えている。学校としては、数字に一喜一憂せず、授業の内容がよりわかりやすいものであることを追求している。

Q：特に低い評価の教員もいるのではないか？その対応は？

A：個別に校長が授業を見学し、アドバイスしている。場合によっては複数回にわたり見学しているケースもある。自由記述のコメントもそれぞれの教員に伝えるようにしている。

⑤教育活動に係る保護者からの意見について

- ・新たな意見はなし（報告）

その他

- ・大阪府学校運営協議会の運営に関する要綱の一部を改正する通知について、それに準じて本校の実施要項を改定することの承認を得た。

<報告事項>

○今年度の教育活動のふりかえりについて

各学年、分掌より今年度の取り組みについて報告。

<全体を通じていただいた意見>

- ・コロナ禍で大変な中、授業アンケート結果が上昇するなど頑張っておられると感じた。
- ・進路、キャリア教育に関する項目のポイントが急上昇している。生徒は学校に魅力を感じているのだろう。
- ・PTA活動が思うように進められず残念だったが、学校が生徒のために力を入れてくれていることが伝わった。
- ・「なみはやに来てよかった」などの数値が上がっている。中学校では、生徒減に伴う教員減もあり部活動を維持していくことが困難になっているところもある。
- ・異例な一年のなかでも自己診断や授業アンケートが毎年いい評価になっている。先生が生徒を支えていこうという意欲が表れていると感じる。引き続き頑張っていたきたい。
- ・授業アンケートでは、「必要なときには予習や復習を行っている」項目が伸びていくことが重要。これが課題。